



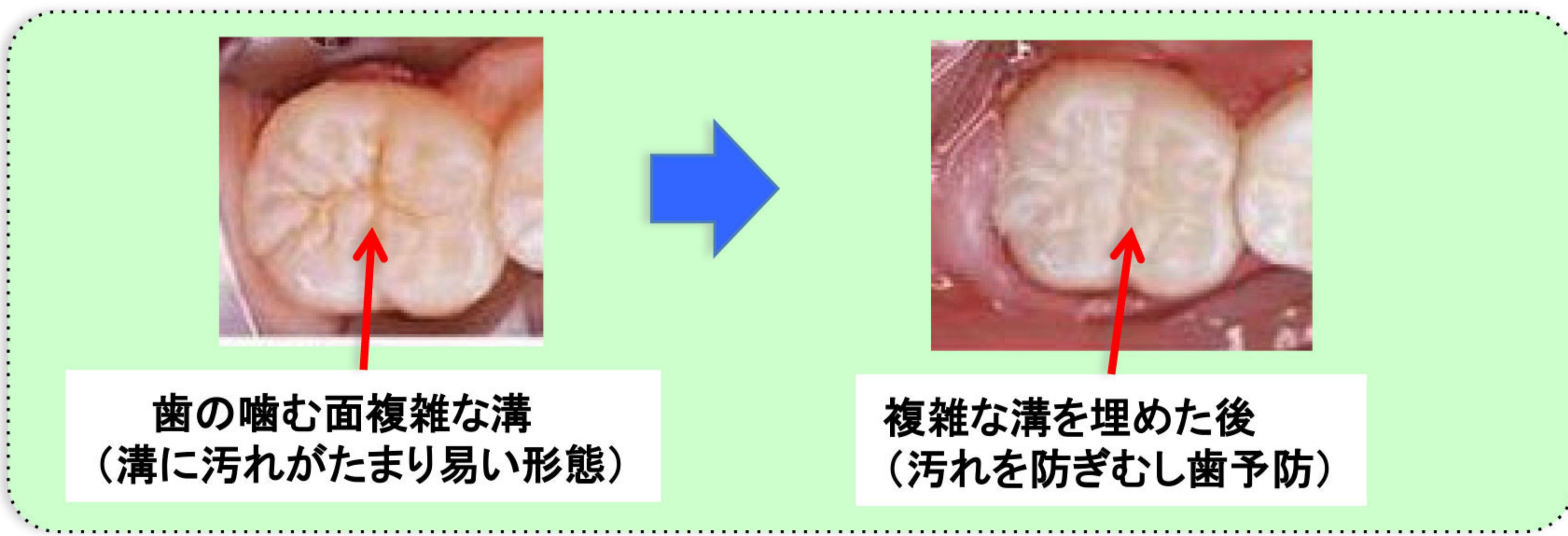
小児のむし歯予防

1.定期検診

小児の定期検診は3ヶ月に1度来院し、むし歯の有無の確認だけでなく、乳歯の正常な萌出や交換を見守る意味でも重要です。乳歯では仮に小さなむし歯を見逃したとしてもそのむし歯が神経の部屋まで到達することがないとされているのが3ヶ月です。

2.シーラント

乳歯や萌えたての永久歯の噛む面は溝がかなり深いので汚れがたまり易い形態になっています。この深い溝を専用の材料で予め塞いでおくことで汚れがたまるのことを予防する治療のことをシーラントといいます。予防処置ですが、保険適応の治療で、1本あたり3分程度の簡単な処置です。詳細はスタッフまでお声掛けください。



3.フッ化物(フッ素)塗布

フッ化物は歯を硬くする作用があります。硬くなった歯はむし歯になりにくくなるのでフッ化物塗布は効果的なむし歯予防と言えます。特に乳歯と萌えてから3年程度の永久歯(幼弱永久歯)はフッ素をたくさん取り込むので歯がはえ始めから永久歯の萌えそろった3年後ぐらいとなる15歳までフッ素を塗布することが効果的といえます。ちなみに、**フッ化物塗布は現在12歳までは条件下の元に保険で塗布することができます**。詳しい条件などはスタッフにお尋ねください。

4.毎日の仕上げ磨き

上記のように、3ヶ月に1度の定期検診を受診しシーラントをしてフッ化物を塗布していれば絶対にむし歯にならないという訳ではありません。基本になるのは毎日の歯磨きです。歯磨きの仕方など、お子様のお口のことでは気になることはいつも御質問ください。

詳しくは当院へご相談ください



ふたぎ歯科医院

